



里山たより

2020年8月 第240号

発行：里山クラブ可児

代表 大鹿 広光

編集、校正：里山クラブ可児

広報 大見 昭敏

1、活動報告

7/1（水プロ） 参加会員：11名

梅雨空の中、元気一杯の??名が参加してくれました。

田んぼビオトープの稲もスクスク成長していますが厄介者の水草もスクスク成長して無農薬栽培にとって一番の厄介者との闘いが今日も繰り広げられました。



7/8（水プロ：休会） 参加会員：5名

昨夜来の大雨により可児市土田地区に避難勧告が出ており雨も降り続けているので活動は休会となりました。それでも我田の森の各施設や田んぼに大雨の被害が出ていないかと心配した有志会員が5名集まり各所を点検してくれました。幸い大きな被害はなさそうでした。

7/15（水プロ） 参加会員：9名

朝から快晴で真夏のような暑さの中で熱中症には縁のない元気な14名の会員が参加してくれました。夏本番を迎える前に気温の高さで田んぼビオトープの水草も稲に負けない位に育ち始めていることから今日は、参加会員がまたまた田んぼの水草取りを精力的に頑張りました。

7/19（例会） 参加会員：12名+こどもの庭会員：2名

梅雨の晴れ間で暑くなりそうな天気にも関わらず14名の会員が参加してくれました。

これまでの大雨の影響で堰堤奥の遊歩道をふさぐように6本の檜が倒れ込んでいることがわかり参加会員全員の力を合わせて除去することにしました。

檜が倒れた原因は、現場を見る限り大雨が地表を流れて表面の土を削り込みだんだんと川の様になり近くの檜が根っこから倒れてしまったのでした。水の力は怖いですね。



7/22 (水プロ) 参加会員：10名

今日も晴れて暑くなりそうな一日ですが元気一杯の会員が10名参加してくれました。今月になって田んぼの水草取りばかりが続きましたが頑張っても取り切れていない田の水草取りをまたまたまた頑張ることになりました。



多く映えている水草は、ホテイアオイ科のコナギです。一番下の棚田を今年蓮池にした所にも今ではコナギがびっしりと繁殖しています。もう暫くするとす紫の可憐な花をつけますのでこれはこれで楽しみです。

7/26 (例会) 参加会員：18名+見学者：1名

まだ梅雨真っ盛りのあいにくの雨の一日になりそうな日となりましたが女子会員を含めて18名が参加してくれました。

先週の例会では、大雨の影響により遊歩道に倒れ込んでいた6本の檜を片付けましたがさらに遊歩道を100mほど登ったところでも1本大きな木が倒れ込んで周りの木を3本ほど巻き込んでいたので早速に片付ける事にしました。雨の中と湿度100%での作業で汗びっしょりになりながらの活動となりました。



7/29 (水プロ) 参加会員：10名

梅雨明けも間近に迫って小雨の蒸し暑い日となりましたが10名の会員が参加してくれました。先の例会日に倒れて遊歩道を塞ぐようにしていた木の玉切り後の後かたづけをすると共に雨でぬかるんだ森の中の小道に砂利等を蒔いて歩きやすくする作業をしました。



2、7月度の我田の森への入山人数

1、里山クラブ可児会員	78人	(累積：317人)
2、自然育児こどもの庭（親と幼児）	138人	(累積：525人)
3、講座	0人	(累積：0人)
4、行事	0人	(累積：0人)
5、外部団体	0人	(累積：0人)
6、協力団体（岐阜森林愛護隊）	0人	(累積：0人)

令和2年度の累積入山人数：842人

3、活動予定

- 1、例会：8/16、23（日曜日）

我田の森全域各所の草刈り作業を予定しています。

- 2、水プロ：8/5、12、19、26（水曜日）

田んぼ周辺の草刈り、水路の保全作業等を予定しています。

- 3、行事、講座：8/10に森の学校（2）で流しソウメン体験を予定しています。

*コロナの感染具合と水質検査の結果により中止となる事もあります。

以上 240号